



等約 450 名が参加しました。

式典では、物故社会福祉事業関係者追悼の黙とうが捧げられた後、県内社会福祉の推進に功績のあった 584 名（団体・組）が、岩手県知事、岩手県社会福祉大会長、岩手県民生委員児童委員協議会長から表彰されました。

東日本大震災津波の発生から 9 年が経過し、住民主体のコミュニティづくりがますます重要となる中、「地域で暮らす全ての人々が生きがいを共に創り、高め合うことができる『地域共生社会』の実現」のため、大会宣言を採択し、閉会となりました。

大会宣言

- 被災者や制度のはざままで困窮する人々が抱える様々な生活課題の解決に向け、福祉サービスの利用支援などに加えて、住民の主体性に基づいた活動や福祉に関わる事業者の連携協働の下に、世代や分野を超えてつながる新たな支援策を積極的に展開します。
- 福祉教育の推進やボランティア活動の振興などを通じて、住民相互の助け合いの機運を醸成し、災害にも備えた安全安心なコミュニティの形成を促進します。
- 福祉・介護人材の養成・確保を進めるとともに、福祉サービスの質の向上を図ります。
- 福祉分野のみならず、医療・保健・教育・労働など、多種多様な分野の組織・機関等とのネットワークを強化し、より効果的な活動の展開に努めます。
- 社会福祉法人における組織統治の強化と地域における公益的事業の推進に取り組みます。

皆様のご支援ありがとうございました

東日本大震災被災者支援、地域福祉活動などのため、ご寄付いただき感謝申し上げます。

皆様のご支援ありがとうございました
株式会社ブリッジ 40,000円(10月2日、11月5日)
有限会社コスト 10,000円(10月15日)

い」とお礼を述べ、安川会長に感謝状を贈呈しました。

今回、福祉車両は軽米町社協に、車いすは障がい者支援施設等 8 か所に、活動助成金は（特非）いわて高次脳機能障害友の会イーハトーヴに贈られ、また、新たに新型コロナウイルス感染症拡大防止支援として、日本赤十字社岩手県支部に支援金が贈られました。



車いす寄贈先の代表者と記念撮影を行う安川慎治会長（左端）と千崎和夫副会長（右端）

ジャパンゴルフツアー選手会「復興支援のため」福祉活動車両を寄贈

国内男子プロゴルフ選手によるジャパンゴルフツアー選手会（時松隆光会長）から、野田村社会福祉協議会（澤口栄一会長）に、軽乗用車 1 台が寄贈されました。

10 月 20 日に行われた贈呈式では、時松会長から、「東日本大震災から来年で 10 年となるが、これまで選手会として少しでも復興を支援したいと、岩手、宮城、福島 の 3 県に年間 10 台ずつ車を寄付してきた。今回、コロナ禍であり、また、本年 7 月の豪雨災害にもチャリティ金を振り分けたいため、寄贈は 1 台のみとなるが、山間部の多い岩手の状況を考え、4WD 車とさせていただいた。復興のために少しでもお役立ていただきたい」と挨拶があり、澤口会長に寄付の目録が手渡されました。

同選手会では、選手の獲得賞金の 1%（およそ 3,000 万円）を活用し、東日本大震災で甚大な被害を受けた東北 3 県に、2014 年度から車両を寄付しています。今回も各県に 1 台ずつ寄贈され、復興住宅の見守り活動を始め、被災者及び地域福祉のために活用されます。



寄贈車両の前で記念撮影を行う時松隆光会長（中央）と澤口栄一会長（左）

第 73 回 岩手県社会福祉大会を開催

10 月 30 日、岩手県民会館にて、岩手県社会福祉協議会、岩手県共同募金会、岩手県民生委員児童委員協議会の共催により、第 73 回岩手県社会福祉大会が開催されました。

今大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して開催され、当日は県内の社会福祉関係者

募金会（長山洋会長）と盛岡市共同募金委員会（川村裕会長）との共催による令和 2 年度共同募金運動開始セレモニーが開催されました。

セレモニーでは、長山会長の挨拶に続き、盛岡市共同募金委員会が企画し、盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校が作成に協力した「赤い羽根共同募金 PR 動画」の放映により、募金の呼びかけが行われました。

続いて、盛岡市共同募金委員会の初の寄付付き商品「赤い羽根のケーキ」の PR が行われ、参加者の注目を集めました。

また、株式会社ベルジョイス（澤田司代表取締役社長）とサントリーフーズ株式会社東北支社（富永孝司執行役員東北支社長）が協力して実施した寄付付き飲料販売による寄付金 518,568 円が、株式会社ベルジョイスの菊池基成取締役常務執行役員から長山会長に贈呈されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県内での街頭募金やイベント募金が縮小されていますが、あなたの町のために使われる共同募金に、ご協力をお願いします。



長山会長に寄付金を贈呈するベルジョイスの菊池基成取締役常務執行役員（左）



共同募金への感謝のメッセージを寄せる盛岡医療福祉スポーツ専門学校の皆さん

生命保険協会岩手県協会「相互扶助精神で地域社会に貢献」福祉車両・福祉機器・活動助成金を寄贈

（一社）生命保険協会岩手県協会（安川慎治会長）から県内の福祉施設等に、福祉巡回車両、自走式車いす及び活動助成金が寄贈されました。

10 月 14 日に行われた寄贈式では、安川会長から、「当協会は相互扶助の精神の下、社会貢献活動を全国的に展開している。今回の寄贈は、岩手県協会加盟 22 社の全職員約 2,400 名が取り組んだ募金をもとに実施するもので、地域福祉の充実に尽力されている皆様にご活用いただければ大変嬉しい」と挨拶があり、出席した代表者一人ひとりに目録が手渡されました。

同協会の取組は、平成 3 年から行われており、岩手県社協の長山洋会長は、「30 年という長い間、県内の福祉関係者に様々なご支援をいただいております。現場で働く我々の大きな励みとなっている。改めて感謝申し上げた

介護・保育・福祉の就職相談会に学生など 86 名が来場

9 月 5 日、令和 2 年度第 1 回介護・保育・福祉の就職相談会がホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING で開催されました。

この就職相談会は、福祉分野への就業促進及び福祉人材確保を目的に、毎年一般求職者を中心に周知し開催されています。今年度は、新型コロナウイルスの全国的な感染拡大により、学生の就職活動に支障が出ている状況を受け、対象を拡大して開催。当日は、時間を短縮しての実施となりましたが、例年より多い 86 名（うち学生 65 名）の方が来場しました。

相談会は 2 部構成で行われ、第 1 部では、介護・障がい関係 25 事業所及び保育・児童関係 13 事業所が、それぞれ事業所の特色を参加者に PR。先輩職員から実際の仕事内容や就職活動のヒントを伝える体験発表も行われました。第 2 部では、個別相談及び先輩との交流が行われ、参加者は積極的に各ブースを回って情報を得ていました。



事業所 PR の様子



ブースで情報収集を行う参加者

令和 2 年度 第 2 回 介護・保育・福祉の就職相談会のお知らせ

今年度 2 回目の就職相談会を、（公財）ふるさといわて定住財団との共催により、12 月 26 日（土）に開催します。

● 会場 いわて産業文化センター・アピオ（滝沢市砂込 389-20）

● 時間 【第 1 部】 11 時～13 時（受付 10 時～）
【第 2 部】 14 時～16 時（受付 13 時～）

内容は、1 部 2 部とも事業所との個別相談会で、参加には申込みが必要です（事業所は 1 部 2 部入替制）。詳しくは、岩手県福祉人材センター（TEL 019-637-4522）までお問合せください。

岩手県共同募金会「令和 2 年度 共同募金運動開始セレモニー」を開催

10 月 1 日、盛岡市肴町商店街を会場に、岩手県共同